

(様式3)

令和2年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	みなとふれあいセンター	所在地	伊勢市神社港262-1
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日
設置目的	高齢者及び身体障がい者並びにその家族の福祉の増進を図るため		
業務内容	・職員の雇用に関すること ・運営管理に関すること(管理責任者業務、庶務業務、災害等発生時の対応業務) ・施設及び設備の維持管理に関すること(設備の保守店家の予備管理業務 等) ・災害等発生時の対応業務 ・その他業務に関すること(危機管理、個人情報保護、情報公開、文書の管理・保存 等)		
施設概要	平成11年3月完成(開館は平成11年4月) 敷地面積713.64㎡(駐車場合む)、建築面積(延床面積)799.74㎡ 鉄骨造2階建て 1階(416.50㎡) 一般浴室、健康チェック室、厨房、食堂、トイレ 等 2階(383.24㎡) 介護支援センター・介護機器展示室、ホームヘルパーステーション、休憩室、相談室・事務室、トイレ 等		
職員体制	センター長 1名(兼務) 事務職員 1名		
施設所管課名	福祉総務課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	12,485,000	12,606,500	12,755,000	148,500
	利用料金	0	0	0	0
	その他	292,444	299,184	74,910	△ 224,274
	計(a)	12,777,444	12,905,684	12,829,910	△ 75,774
	支出				
	人件費	4,412,879	4,185,400	5,564,171	1,378,771
	管理運営費	5,685,688	6,024,465	5,745,507	△ 278,958
	その他	0	0	0	0
	計(b)	10,098,567	10,209,865	11,309,678	1,099,813
収支差引額(a)-(b)	2,678,877	2,695,819	1,520,232	△ 1,175,587	

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	指定管理料他の増に伴う収入の増。 指定管理施設修繕の減に伴う市からの修繕補填の減。 人事異動及び兼務職員による人件費の増。
----------------------------------	---

3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
<p>みなとふれあいセンターを利用いただく方の安全を第一に考え、管理業務を行った。</p> <p>定期的に利用していた団体は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用回数が少なくなった結果、大幅な利用人数の減となった。感染症対策(手指消毒液の設置、定期的な換気、職員による消毒など)を実施しているが、主催団体側が利用を自粛することが多かった。</p> <p>職員による建物、設備の簡易点検、消毒を行い、職員で修繕できる箇所は職員による修繕対応をした。業者へ依頼する必要がある箇所は、安全確保をしたのち、早急に業者へ連絡のうえ現場を確認してもらい、修繕依頼し、安全に利用していただける様に努力した。</p>	<p>施設の管理については適正に行われており、保守についても報告、調整及び対応がなされていた。</p> <p>今後も引き続き、地域住民のニーズに沿った、誰もが利用しやすい施設となるよう、創意工夫された。</p>

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名

みなとふれあいセンター

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	設置目的、基本方針を理解し、管理運営を行った。	A	施設の設置目的を理解したうえで、適切な管理運営が行われていた。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	設置目的の達成に努めた。	A	施設の管理運営状況等から施設の設置目的は達成されたと思われる。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	—	—	—	—
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	供用日数、供用時間を守り、適正な施設運営に努めた。	A	適切な施設運営が行われていた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	職員の配置状況、勤務実績は適正で業務執行体制は明確であった。	A	職員構成、人員配置、指揮命令系統の届出もあり、業務執行体制は明確になっていた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	毎月の月次報告の他、必要に応じて連絡調整を行った。	A	月例報告に加え、突発的な案件についてはその都度報告がなされ、十分な連絡調整がなされていた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	集計方法を見直し、月報の数値について適確に記録できるようにした。また、各種点検記録等については、委託業者から書類の提出を求め、整備・保管した。	A	各種記録について適正に整備、保管されていた。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	A	小学校との交流を行い、地区民児協、まちづくり協議会との連携を図った。	A	地域住民との連携・交流を図る取り組みが実施されていた。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	—	—	—	—
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	—	—	—	—
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報保護法及び個人情報保護条例に基づいて適正に個人情報を取り扱った。	A	個人情報の取扱いは適正に行われていた。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	法令を理解し遵守した。	A	関係法令を遵守した管理運営が行われていた。

指定管理業務の項目別評価表

施設名

みなとふれあいセンター

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	B	ボランティア団体によるストレッチ教室・ダウン症児対象のカフェは、新型コロナウイルス感染症の影響で開催しない事が多くあった。	B	新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響のため、施設利用状況及び利用者数増加への取り組みが難しかった。
	②利用者の平等な利用	A	職員間の連携、情報の共有をし、サービスの水準を確保した。	A	サービス水準を確保するための取組が行われていた。
	③適切な情報提供	A	1階玄関ホールにあるコミュニティボードを活用し、イベントの案内等の情報提供を行った。	A	利用者が情報を得ることができるよう、適切な利用情報の提供が行われていた。
	④非常時・緊急時の対応	A	年2回の避難訓練を利用者で行い、職員には緊急時のマニュアルを周知した。	A	緊急時のマニュアルの周知を行い、定期的な訓練も実施されていた。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	苦情解決のマニュアルは整っているが、それを活用する苦情等はなかった。	A	意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていた。
	⑥自主事業	—	—	—	—
	⑦事業の評価	A	見直しを行い、次年度へつなげる取り組みをした。	A	事業の確認、見直しが行われていた。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	専門業者による保守点検業務の他、独自のチェックシートを活用して、職員が建物内外を見回り、安全性の確保、美観の保持に努めた。	A	定期的な点検等により、安全性の確保や良好な機能及び美観の保持がされていた。
	②備品等の管理	A	専門業者による点検・保守により、備品管理を適切に行った。	A	管理・点検・保守は適正に行われていた。
	③修繕業務	A	異常が認められた場合は、安全かくほを行った上で、業者へ修繕依頼をし、内容を記録した。	A	適正な応急処理がされており、市への報告も迅速に行われていた。
	④清掃業務	A	週2回の清掃と年2回の定期清掃は業者と委託契約を締結し、適切に行われていることを確認した。また、それ以外は職員が施設内を見回った際に、清掃をし美観に努めた。	A	清掃は適正に行われていた。
	⑤防犯体制	A	鍵は決められた場所で保管し、保管場所の施錠と事務室の施錠をし管理した。閉館時は警備会社に24時間体制の警備業務委託を行った。	A	鍵の管理は適正に行われていた。